

講座

8

人間学再論—今あらためて人-間を考える

オンライン併用

【会場定員】72名【オンライン定員】100名 【受講料】2年会員13,380円 1年会員15,060円 聴講生20,080円

『歴史・文学・人間学』人間学 【時間】 毎回 13時00分～14時30分（計12回）

概要

和辻哲郎は、人は「間」をもつことによって人間たりうると、人間を「間柄（あいだがら）存在」と規定した。その「間」は、人と人との間のみならず、人と人を超えたものとの間でもある。ここでは、そうした「人-間」存在の多様・多彩なありようをさまざまなジャンルから論じてもらいます。

回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/ 3(木)	川崎市 生涯学習 プラザ	「人-間」を生きる——自由に生きられないのは<不幸>なことか	日本女子大学准教授 伊藤 由希子
2	10/10(木)		みえる世界・みえない世界①	哲学者 内山 節
3	10/17(木)		みえる世界・みえない世界②	
4	10/24(木)		誰にも変身しない演技	俳優 梅宮 万紗子
5	10/31(木)		八十六歳になった自分のこと	エッセイスト 植村 鞆音
6	11/21(木)		日本人と「悪」—神道、仏教、儒教から考える—	中央大学教授 大川 真
7	11/28(木)		人間による自己理解の方法としての<解釈> ——ポール・リクルの解釈学	明治大学准教授 越門 勝彦
8	12/ 5(木)		心に潜む「認知バイアス」とは	十文字学園女子大学教授 池田 まさみ
9	12/12(木)		修養とは何か——新渡戸稲造から松下幸之助まで	東北大学助教 大澤 絢子
10	12/19(木)		俗々 日本人論	映画監督 伊藤 俊也
11	1/16(木)		転生を生きる人々——ブータンの死生観	上智大学グリーンケア研究所副所長 西平 直
12	1/23(木)		「独りを慎む」——人と生きる畏れ	日本女子大学准教授 伊藤 由希子